

昭和四十三年産米の改善並びに計画出荷

◎良質米を作りましよう

春以来好天候と皆さんの努力により良い稔りの秋を迎えました。

今のところ昨年並みの豊作が確保できる見通しなので今年も更に良い米を作って玉川村産米の声価をより高めるよう努力しましょう。

◎良い米を作るには
一、適期に刈取りをする。

刈取適期は米の品質に大きな関係があり刈取り適期を逸すと全般的に品質が悪くなり食味も劣るばかりか胴割米の原因ともなりますので、従来の三分の二程度が黄化した時期が適期です。

(出穂後四〇日)四五日頃) 二、乾燥
乾燥は米の品質保持のため最も重要であり水分は一五%以内を目標として充分乾燥すること。

長期間のはせ掛けは早刈りの効果をなくすので早目に収納脱穀すること。
籾の乾燥はむしろ干し一日四〜五回かくはん)をする。
三、調整充分乾燥した籾を脱穀し二回かけは避ける。
異品種土砂の混入は商品価値を著しく損なうので注意すること。
籾摺りは機械をよく点検しロールずれ又は籾の混入のしないよう注意すること。
二段米選機を使用するか普通米選機(萬石)に二回かけるようすること。
◎正味重量の欠減は米の声価を損うので欠減しない程度の増量をする。
◎計画的な出荷によって適正検査が出来るよう協力すること。
◎作付の計画は種籾を更新し品種を統一すること。



九月一日から軽免許は廃止

「軽免許の廃止」は、さる四十年前に成立した道交法の一部改正に含

まれていたが、その実施は三年後のことし九月からとなっていた。この改正は、運転免許制度の合理化をはかるねらいで考えられたもので、
①八月三十一日までに軽免許を取っている人は、普通免許を受けたものとみなされるが、普通自動車は運転できず、軽自動車(長さ三以下、幅一、三以下、高さ二以下、総排気量三六〇cc以下)しか運転できない。

玉川村第一小学校新築工事始まる

八月二十八日玉川第一小学校主体工事第一期中分請負入札が実施され、三、一六〇万円で(給排水電気、暖房工

②すでに軽免許を持っている人で、普通自動車を運転したい人は、公安委員会が行う審査(技能審査)を受けなければならぬ。
③軽自動車が貨物を積んだ場合、これまで高さの制限は二メートルだったのを、こゝの改正で二、五メートルとなる。
④高速道路を走る場合

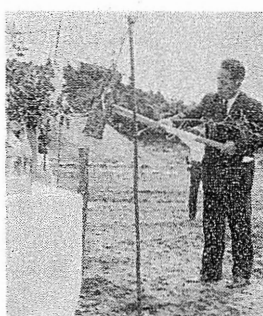
普通自動車は時速百キロまで出せるが、軽自動車はこれまで通り八十キロまでとするとなっている。なお、軽免許はこれまで、十六歳以上から取ることができたが、九月からは普通免許になるため、十八歳以上にならないこととなる。(交対協ニュースより)

住宅統計調査が十月一日行なわれます

今年度第一期工事は、鉄筋コンクリート三階建校舎一棟、一四七平方メートル、出来あがる。

新築起工式
今年度第一期工事は、鉄筋コンクリート三階建校舎一棟、一四七平方メートル、出来あがる。

農業文化祭について
本年も農業文化祭を開催いたす予定でありますので、各種目別に多数出品できるように準備を進めておいて下さい。尚開催日程が確定すれば十月の広報「たまかわ」に掲載いたします。



献血に協力いたしましょう

採血する場合には、どんな事故に逢うかわかりません。絶対に病気をしないと断言もできません。こんな意味から健康なときに献血をして、他人を助け自分病気がなくなったときには、皆さんの献血で助けていただくことが献血の精神です。
献血できる人
十五才以上の人。
(2)過去一ヶ月以内に供血された人。
(3)過去六ヶ月以内に妊娠していた人、現在妊娠している人。
状態の悪い人。
採血しても身体に影響ない
(1)献血手帳(血液型記入)が交付されます
(2)本人や家族に輸血の必要があるときは、玉川村役場住民課(電話川辺二・三二四)

優先的に保存血液が
お世話されます。
(3)献血のお礼として記念品をさあげます。
◎献血についての問い合わせは
県庁厚生部業務課(電話福島三二二)
衛生研究所採血室(電話福島一〇〇四)
福島県石川保健所(電話石川三二二)
玉川村役場住民課(電話川辺二・三二四)

十月一日には、全国的な規模で住宅統計調査が行なわれます。この統計調査は住宅関係の施策に、もっとも必要な統計をつくるための調査で、五年毎に行なわれており、今回は第五回目にあたります。
この調査によって、わが国の各都市各地域の住宅の実情が明らかにされ、その結果は、国や都道府県などが立案実施する住宅建設、都市再開発、地域計画環境整備などの資料として用いられます。
この調査の実施について、みなさまのご協力をお願い致します。
企画室統計係

自転車安全な乗り方コンテスト大会 児童生徒立派な演技を披露



八月十九日午前九時より、須釜小学校校庭で、村内各小中学校児童生徒による「自転車安全な乗り方コンテスト大会」が開かれました。暑い中、小学校六チーム、中学校六チーム四八名の代表者が参加、日頃学んだ交通ルールを披露し立派な成績をおさめた。

石川警察署係員の審査の結果入賞者は次のとおりです。

団体の部
小学校

3ヶ月天気予報

概況

9月はじめは一時暑い日があるが中旬頃から気温は下がり秋雨が降り易くなり10月中旬頃から安定した秋らしい天気になりましょう。しかし、10月中旬頃と11月下旬には寒気の吹き出しがありこの頃初霜や初雪がある見込みです。また日本に影響する台風は9月は1〜2個10月は1個位ある見込みで大雨となるおそれがあります。

気温

9月：月はじめは平年より高めですが中旬頃から低めの日が現われ易くなり月平均では平年並かやや低めになるでしょう。

10月：上旬は低めの日が現われ易いが中旬以降は週期的に寒暖の変化を示すようになるでしょう。しかし下旬には一時寒気の吹き出しがあり山間では初霜があります。月平均では平年並の見込みです。

11月：時々冷え込みの強い日が現われ特に下旬には寒気の吹き出しがあり一時かなり低めとなる見込みで月平均では平年並位でしょう。

降水量

9月：月はじめは一時夏型の気圧配置になるが長続きせず中旬から秋雨が降り易くなるでしょう。台風は1〜2個上陸し本県にも大雨のおそれがあります。月の総雨量は平年並かやや多く所によっては多目となります。

10月：月初めは秋雨が降りやすいが中旬頃から移動性高気圧が週期的に通り秋晴れの日が多くなる見込みです。下旬には大陸の高気圧が一時強まり弱い季節風の吹き出しがありこの頃山岳部では初雪があるかも知れません。月の総雨量は平年並かやや少い見込みであるが台風の影響によれば多めとなるかも知れない。

11月：移動性高気圧がやま北に偏って通りやすいので比較的晴れの日が長続きしない見込みです。月の総雨量は平年並みの見込みです。

第一位	須釜小	第一位	須釜小
第二位	矢吹光男	第二位	須釜小
第三位	玉川直子	第三位	玉川第一小
第一位	泉中	第一位	泉中
第二位	泉中	第二位	泉中
第三位	泉中	第三位	泉中
第一位	泉中	第一位	泉中
第二位	泉中	第二位	泉中
第三位	泉中	第三位	泉中
第一位	泉中	第一位	泉中
第二位	泉中	第二位	泉中
第三位	泉中	第三位	泉中

部対抗 南須釜優勝

公民館主催第三回部対抗野球大会は、九月一日午前八時より泉中学校、須釜小学校々々において、全部落十チームが参加して開かれ終始熱戦を展開、その結果決勝戦で南須釜チームが小高チームを一点差で破り優勝した。成績次のとおり。

(抽せん勝)

一回戦
岩法寺10―0四辻
蒜生5―4北須釜
吉4―0山小屋

二回戦
岩法寺10―4川辺
小高12―6蒜生
南須釜7―2中竜
竜崎11―4吉

準決勝
小高4―4岩法寺

雑記帳

今年が明治百年、人の平均寿命も年々のび「人生五〇年」と言れた時代もとうに過ぎ、「人生百年」と云う声が聞かれる時ともうがらず来ることと思われませんが、今は昭和元禄

睡眠は労働によって生じた疲労を回復させるのに是非必要で、労働力の再生産のために睡眠に優るものはない。

●睡眠時間
これは年令などにより一定しないが、大人は一日八時間を適当とする。一日を三つに分け、八時間働き、八時間食事を、運動、そのほかの雑用に使い、残り八時間を睡眠時間とすれば大体よい。

●睡眠方法
睡眠を十分にとるとは、疲労を回復し翌日の活動に対する精力

健康手帳

睡眠

- 一、外からくる刺激、すなわち騒音、人声、気流、低温、高温などを避けること。
- 二、のみ、南京虫、蚊、はえなどの侵入をなくすこと。
- 三、きつい下着類は脱ぐこと。かけぶとんもあまり重ねすぎないこと。
- 四、刺激性の茶、コーヒーなどは就寝間際に飲まないこと。
- 五、就寝前には感情の動きを大きくするよるな読書をさけること。
- 六、空腹感のないようにすること。
- 七、足がだるかったり重かったりする場合に足部を高くしておくこと。
- 八、たとえ寝つかれなくても、気にかけないで心の平静を保つこと。
- 九、就寝時刻を平素から一定にしておくこと。
- 十、尿意が睡眠中起きないように飲水をつしむこと。
- 十一、睡眠薬はつとめてさけること。やむを得ないときは医師の指示に従って服用することとし、素人買はしないこと。



お知らせ

福島県移動交通事故相談所が開設されます。

相談日 毎月十日（十日が休日の場合はその翌日）

場 所 須賀川市体育館会議室

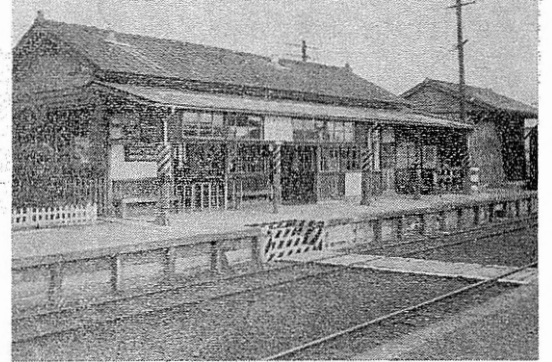
場 所 須賀川市体育館会議室

土曜日 九時から十二時まで

平日 九時から十六時まで

◎あらゆる交通事故相談について無料です。お気軽にご相談下さい。

我が村の駅



開業後今年で三十四年になり、当駅は国鉄の業務機関、所在地は玉川村大字小高字中村前と登録され、水戸局一三駅中、村内所在駅六駅の少ない中に数えられています。

水戸起点一一五キロ三〇〇メートル、郡山起点二七キロ一〇〇メートルの地点です。

なお、駅の名前については、旧泉村所在で泉駅が相応わしいところでしたが、常磐線に泉駅ができていたので泉郷としたと聞いています。

駅本屋の面積八〇、七平米庇下二九、三平米とその他貨物上家保管庫、便所を有し開業当時の造りでいささか現代の建物とずれた感があります。構内により本線、下り本線、下り一番線、貨物線をもちこれに附属したポイント五箇が設備されています。

「気笛一声新橋を」して親しまれて参りま昔なつかしい鉄道唱歌のとおりに、明治五年十月新橋—横浜間に鉄道が開通して九五年になります。泉郷駅も昭和九年十二月開設以来、戦前戦後を通じ、数々の開通区間磐城棚倉の思い出や、夢をのせ川東間に含まれ最終開業となつています。

水郡線の線路の変遷から当駅誕生までを見ますと次のようになっています。

- 昭二・二・一 水戸鉄道 水戸常陸太田間と上管谷、常陸大宮間は国有鉄道となり水郡線となる(昭和四年)
- 昭三・四・一 太田鉄道 久慈川(現河合附近)太田間開通。
- 昭三・六・三 水戸鉄道 上管谷、瓜連間開通
- 昭七・〇・三 水戸鉄道 瓜連、常陸大宮間開通。
- 昭四・八・五 山方宿、上小川間開通。
- 昭二・三・〇 上小川、常陸大子間開通。
- 昭二・三・一 水戸鉄道 水戸常陸太田間と上管谷、常陸大宮間は国有鉄道となり水郡線となる(昭和四年)
- 昭三・四・一 太田鉄道 久慈川(現河合附近)太田間開通。
- 昭三・六・三 水戸鉄道 上管谷、瓜連間開通
- 昭七・〇・三 水戸鉄道 瓜連、常陸大宮間開通。
- 昭四・八・五 山方宿、上小川間開通。
- 昭二・三・〇 上小川、常陸大子間開通。
- 昭二・三・一 水戸鉄道 水戸常陸太田間と上管谷、常陸大宮間は国有鉄道となり水郡線となる(昭和四年)
- 昭三・四・一 太田鉄道 久慈川(現河合附近)太田間開通。
- 昭三・六・三 水戸鉄道 上管谷、瓜連間開通
- 昭七・〇・三 水戸鉄道 瓜連、常陸大宮間開通。
- 昭四・八・五 山方宿、上小川間開通。
- 昭二・三・〇 上小川、常陸大子間開通。

初秋 閑根 栖泉

雨去りて草ひくく翔つ秋の蝶ひとの言外らす扇に憂ひあり釣り落す鱗に寄せくる早稲の風疲れ寝の妻に夕べの法師蟬老いの日の恙なくあり法師蟬雨後の日や閑す堂扉の百日紅蜻蛉失せ野路の雨雲くずれ出す秋風の瀬音に部屋の灯を残す

昭九・二・四 水郡南線 磐城棚倉、水郡北線 川東間開通。水戸、安積永盛間全通。南北線を併合して水郡線と改称(当駅開業年月日)

昭五・八・一 泉郷駅は従来仙台鉄道局福島管理部署管轄の現場のところ、国鉄機構改正により水戸鉄道管理局に移管現在に至る。

昭二・三・一 水戸鉄道 水戸常陸太田間と上管谷、常陸大宮間は国有鉄道となり水郡線となる(昭和四年)

昭三・四・一 太田鉄道 久慈川(現河合附近)太田間開通。

昭三・六・三 水戸鉄道 上管谷、瓜連間開通

昭七・〇・三 水戸鉄道 瓜連、常陸大宮間開通。

昭四・八・五 山方宿、上小川間開通。

昭二・三・〇 上小川、常陸大子間開通。

昭二・三・一 水戸鉄道 水戸常陸太田間と上管谷、常陸大宮間は国有鉄道となり水郡線となる(昭和四年)

昭三・四・一 太田鉄道 久慈川(現河合附近)太田間開通。

昭三・六・三 水戸鉄道 上管谷、瓜連間開通

昭七・〇・三 水戸鉄道 瓜連、常陸大宮間開通。

昭四・八・五 山方宿、上小川間開通。

昭二・三・〇 上小川、常陸大子間開通。

先月の日誌より 八月

- 役場
 - 八・三 石川地方町村職員野球大会
 - 八・九 自転車交通安全な乗り方コンテスト実施打合せ会
 - 八・二 石川地方町村職員卓球大会
 - 八・三 玉川第一小建築委員会
 - 八・三 村議会全員協議会
 - 八・六 庁内大掃除
 - 八・九 自転車交通安全な乗り方コンテスト大会
- 教育委員会
 - 八・五 青年陸上競技大会
 - 八・八 第二回村民登山大会
 - 八・七、八 教委、文教委員学校訪問
 - 八・二〇 青年学級
 - 八・二〇 石川管内青年学級理事會
 - 八・一 部落対抗野球大会

お誕生おめでとう

お誕生おめでとう
（八月分の出生届書から）

- | 部落 | 生出児氏名 | 世帯主名 | 続柄 |
|-----|-------|------|------|
| 小高 | 湯沢美香 | 金市長 | 女 |
| 中 | 鈴木美枝子 | 忠男 | 女 |
| 岩法寺 | 佐久間初枝 | 倉藏 | 孫の長女 |
| 南須釜 | 村越美栄子 | 清三 | 女 |
| 南須釜 | 小原伸夫 | 保男 | 孫 |
| 南須釜 | 大越昭子 | 吉直 | 孫 |
| 南須釜 | 木戸光恵 | 惣吉 | 孫 |

ご逝去お悔み申し上げます

ご逝去お悔み申し上げます
（八月分の死亡届書から）

- | 部落 | 死亡者氏名 | 世帯主名 | 続柄 |
|-----|-------|------|-----|
| 川辺 | 大竹多美夫 | 要介の父 | 八・三 |
| 小高 | 国井重信 | 父 | 八・二 |
| 南須釜 | 円谷ミサ | 兼良妻 | 八・三 |

編集後記

◎九月十月は読書、スポーツの秋である。まづ体をきたいたるため勉強仕事の合間に澄みきつた秋空の下スポーツを楽しんでください

◎今月下旬より、稲刈入等農繁期となります。充分体に注意され農作業に励んでください。

◎詩、俳句、短歌等の投稿をおまちしております。